

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】令和5年7月7日(2023.7.7)

【国際公開番号】WO2022/085164  
 【出願番号】特願2022-556337(P2022-556337)

【国際特許分類】  
 H05K 9/00(2006.01)

【FI】

H05K 9/00 M

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月24日(2023.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

シート状に形成される誘電体層と、  
 前記誘電体層の一方の面に形成される導体層と、  
 前記誘電体層の他方の面に配置される複数の導体パターンと、を備え、  
 前記複数の導体パターンの夫々は、  
 棒状に形成され、第1波長の電波で共振する棒状素子と、  
 板状に形成されるとともに前記棒状素子に内接し、前記第1波長より短い第2波長の  
 電波で共振する板状素子と、を含み、  
前記板状素子の少なくとも2辺は前記棒状素子の2辺の一部となる、  
 電波吸収体。

【請求項2】

30

前記板状素子は、前記棒状素子の少なくとも2か所で内接する、  
 請求項1に記載の電波吸収体。

【請求項3】

前記複数の導体パターンは、複数の板状素子が内接する前記棒状素子を含み、  
 前記複数の板状素子は、互いに離れて設けられる、  
 請求項1または2に記載の電波吸収体。

【請求項4】

前記棒状素子は多角形に形成され、  
 前記複数の板状素子の夫々は、前記棒状素子の互いに異なる角に内接する、  
 請求項3に記載の電波吸収体。

40

【請求項5】

前記複数の板状素子は、前記第1波長より短く、かつ、前記第2波長とは異なる波長の  
 電波で共振する板状素子を含む、  
 請求項3または4に記載の電波吸収体。

【請求項6】

前記複数の導体パターンは、隣り合って配置される第1導体パターンと第2導体パター  
 ンとを含み、  
 前記第1導体パターンは、前記棒状素子の第1の箇所で前記板状素子が内接し、  
 前記第2導体パターンは、前記棒状素子の第2の箇所で前記板状素子が内接する、  
 請求項1から5のいずれか一項に記載の電波吸収体。

50

**【請求項 7】**

前記板状素子を厚さ方向に貫通する貫通孔が設けられる、  
請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の電波吸収体。

10

20

30

40

50